

2018 年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	法学部 政治学科 3 年（留学年次） 4 年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 東呉大学 国際交流
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2018 年 2 月 26 日 ～ 2019 年 1 月 12 日 出国日 2018 年 2 月 19 日 最終帰国日 2019 年 1 月 14 日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計 1,500 字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第 1・2 回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学の目的・目標は英語力の維持と中国語の習得です。留学中は英語での授業を積極的に履修しつつ、中国語も疎かにしないように中国語の授業はもちろん、日常的に友人と会話をして、中国語を使いました。また、台湾は親日国家であり、日本語を学ぶ多くの生徒がいるため、その人のためになるように中国語を教える代わりに日本語を教えたりもしました。この形こそが本来の交換留学のあるべき姿だと思います。最後に勉強してきた中国語のレベルを可視化できるように一時帰国時に HSK4 級取得、最終帰国後に HSK 5 級を目標に中国語の勉強に励んでいます。振り返るとしっかり帰国前に 4 級を習得することができ目標達成へと着実に進めています。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

私は英語利用で東呉大学の留学をしたのですが、やはり現地にいると中国語を学びたいとなり、多くの中国語の授業を取り、日々精進しました。しかし、日本では一切中国語に触れていなかったため、伸びしろはあったのですが、土台がないあまりに中国語マスターまでには程遠く帰国してしまいました。そのため、英語利用で台湾に留学される方でも少しでもいいので中国語に馴染んでから行くようにした方がいいと思います。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

授業は少人数で教授はフレンドリーで気さくに話しかけてくれます。英語の授業は必ず他の留学生がおり、グループワークや発表が多いため友達も 100 人出来ます。日本の授業よりも楽しく、実りのある時間が過ごせます。中国語の授業は初級のため、初心者でも分かりやすいように丁寧かつ効率的に教えてくれます。もちろん、デスクワークだけでなく対話式なので上達もしやすいです。小テストも毎週行われますが、他にもプレゼンテーションなどアクティブラーニングが行われています。その他の授業は全て英語で行われています。基本的に全て少人数制でグループワークが多いです。課題はほぼ毎週あり、それらはレポートやプレゼンテーションなど様々です。時にはフィールドトリップで外に赴くこともあります。基本的に日本人は日本人で固まりやすいので私は極力日本人のいないグループや授業をとり、多くの留学生や現地の学生と交流を図りました。後期はより交流を図ることや就職活動の準備があったため履修を減らして調整をしました。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

山を切り拓いて造られた大学なので坂が多く移動が大変です。しかし、それを除けば何でも揃う完璧なキャンパスです。郵便局・ジム・体育館・グラウンド・食堂・コンビニ・マクドナルドなど非の打ちどころがありません。また、レンタルバイクやバス停も学校に隣接しているので街にも出やすいです。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

語学面は週に 12 時間ほどの中国語の授業があるので心配はいりません。もしそれでも足りないようでしたら、学生のチューターが常駐しているのでその部屋に行って話したり、授業中に理解できなかった点を補うことが出来ます。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

留学生向けのイベントが月に 1 度は必ずあり、とても楽しめます。しかし、今期から留学生担当が変わり、その頻度は減っているように見えます。ただ、バディー制度もあるので生活面で苦しむことはないでしょう。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

特に知りません。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

本当に安全です。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

アットホームで落ち着けます。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
初級中国語①②中級中国語①② (20)	未定
Contemporary east Asian cultures and societies (2)	
Social policies in East Asia (2)	
Global public policy(3)	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮

(2) 家賃

月額 (日本円) 約 1万5000 円

(3) 食事

自炊/その他 (学食)

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 計 1 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

破格の値段。さらに現地の学生と同じ生活を送ることで学ぶことも多くあります。

4. 費用について

(1) 学 費

日本の大学に支払っているため、分かりません。

(2) 渡航方法と金額

LCC 飛行機 往復 (日本円) 約 3万5000 円

(3) 生活費

(月額) 約 4 万円 、(年間) 約 50 万 円

※宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

台湾は日本同様コンビニや ATM が多いのでカードを持って行って現金を下ろすという形が一番楽だと思います。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

受給額：20 万円 内訳：飛行機代・寮費・生活費

5. 保険について

(1) 保険会社名

ジェイアイ傷害火災保険

(2) 保険料

15 万円

(3) 加入した保険の種類、内容

Tabiho たびほ

(4) 感想、良かった点・悪かった点

保険を適用した場面がないため特に感想はありません。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物

(2) 持って行って良かったと思う物

電子辞書・旅行雑誌

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

なし

(4) 持って行けば良かったと思う物

HSK や中国語の参考書

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

基本的に毎日授業。放課後は友人とご飯を食べて話したり、9 時まで空いているジムで汗を流します。

(2) 週末

野球部に所属していたので土曜日日曜日の片方は必ず練習をしていました。休みの日は現地の友人や他の留学生と街を闊歩して美食を食べまわります。

8. 後輩へのアドバイス等

台湾の天気は少しおかしいので体調管理には気を付けてください。自己管理能力が身に付きます。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

特になし。